



平成28年度予算など決まる

国保運営方法が変わる平成30年度を視野に入れて、県や保険者と連携して事業に取り組む

平成 28 年熊本県国民健康保険団体連合会通常総会

本会は、2月12日に熊本市のKKRホテル熊本で通常総会を開催した。提出された15の議案はすべて原案どおり可決された。



開会に当たり、大西一史理事長（熊本市長）が、本会個人情報保護管理体制等の見直しや過去及び今後の剰余金に係る積立金の処分方法などについて報告したあと、「平成30年度から都道府県が市町村と共同して国保の運営に当たることになり、1月に厚生労働省から納付金・標準保険料率の算定や国保運営方針の策定要領のガイドライン案が示され、今後地方団体との議論等を踏まえて正式に取りまとめられる。都道府県では29年度中に策定するようになっており、市町村においても施行に向けて準備作業が求められる。本会としても、県との連携強化のために今年度から職員を県に派遣し情報収集に努めているところで、国保制度の円滑推進に向けて、引き続き県・保険者との連携協力体制を築きながら諸問題の解決に取り組んでいかなければならないと考えている」と挨拶した。



開会挨拶する大西理事長

続いて、来賓の熊本県健康福祉部健康局の山内信吾局長が、「平成30年度から県が国保の財政運営の責任主体となり、市町村とともに国保の運営を担うこととなった。昨年9月末には国から移行準備のスケジュールが、11月末には制度改正により必要となる県・

市町村の電算システムの提供等の方針が示され、県では本年 1 月に市町村を対象に電算システム改修についての説明会を開催した。また、国保の財政運営の根幹となる国保事業費納付金及び標準保険料率の算定について、ガイドライン案を参考に県でシミュレーションを行い、現在市町村で検証していただいている。さらに、3 月に国から最終的に示される政省令案やガイドライン等に基づき、今秋には算定方式の大枠を固めたいと考えている。平成 30 年度に向けて、県と市町村で協議して決めなければならない課題も多岐にわたっており、これまで以上に市町村や国保連の意見を受け止めて、課題を解決しながら取り組みを進めていきたい」と挨拶した。



来賓挨拶する山内局長



議長を務める佐藤町長

その後、議長に南関町の佐藤安彦町長を選出し、議事録署名者に宇城市の守田憲史市長と錦町の森本完一町長を指名して、議案審議に移った。議事では、平成 28 年度の業務計画、一般会計及び特別会計の歳入歳出予算についてなど合わせて 15 議案が提出され、審議の結果、すべて原案どおり可決された。また、2 月 5 日開催の理事会で議決された特定個人情報等取扱規則の制定、規則の一部改正について報告された。

最後に、3 月末日で任期満了となる林田直志常務理事が退任の挨拶を述べ、苓北町の田嶋章二町長の閉会挨拶をもって終了した。

議決事項

- 議案第 1 号 平成 27 年度財産（積立資産）の処分
- 議案第 2 号 平成 27 年度一般会計・特別会計歳入歳出予算の補正
- 議案第 3 号 平成 28 年度業務計画
- 議案第 4 号 平成 28 年度一般会計歳入歳出予算
（以下、議案第 5 号～第 14 号は平成 28 年度各特別会計歳入歳出予算）
- 議案第 5 号 国民健康保険関係事業特別会計（業務勘定）
- 議案第 6 号 同上（国民健康保険支払勘定）
- 議案第 7 号 後期高齢者医療関係事業特別会計（業務勘定）
- 議案第 8 号 同上（後期高齢者医療支払勘定）
- 議案第 9 号 保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業特別会計
- 議案第 10 号 介護保険関係事業特別会計（業務勘定）
- 議案第 11 号 同上（介護保険支払勘定）
- 議案第 12 号 障害者総合支援法関係業務等特別会計（業務勘定）
- 議案第 13 号 同上（障害者総合支援支払勘定）
- 議案第 14 号 特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計
- 議案第 15 号 役員の変更

報告事項

- 報告第 1 号 特定個人情報等取扱規則の制定
- 報告第 2 号 規則の一部改正

📎平成28年度業務計画（基本方針）

熊本県・保険者・関係機関等との密接な連携のもと①～④を実施して、事務の効率化、より一層の経費節減、財務管理の厳格化・透明性向上を図り、保険者の共同目的達成に向け鋭意取り組んでいく。

①診療報酬審査支払事業（基幹業務）

- ・システムによる審査の質の向上と効率化、被保険者資格確認、保険者レセプト点検等の保険者への医療費適正化支援

②保険者事務共同電算処理事業

- ・国保総合システムの安定的運用による事務の迅速化

③保険者支援・共同事業

- ・第三者行為損害賠償求償事務共同処理の推進
- ・レセプト二次点検の実施
- ・保険者における KDB システム等を活用したデータ分析への支援、国保等ヘルスサポート事業への支援
- ・保健事業支援・評価委員会の運営
- ・特定健康診査・特定保健指導等の充実や受診率向上への支援
- ・熊本県保険者協議会事務局としてその機能強化への支援

④介護保険関係事業

- ・介護給付費審査の充実
- ・介護給付適正化システムの活用促進による介護給付適正化対策への支援
- ・委託保険者に代わり一部の縦覧点検業務の実施

📎平成28年度予算概要

（単位：千円）

会 計 名		平成 28 年度	平成 27 年度	前年度との比較	
一般会計 ^{※1}		260,633	936,731	△676,098	27.82%
国民健康保険関係事業特別会計	業務勘定 ^{※2}	3,605,166	1,224,979	2,380,187	294.30%
	支払勘定	181,312,825	178,383,234	2,929,591	101.64%
後期高齢者医療関係事業特別会計	業務勘定 ^{※3}	1,286,803	818,305	468,498	157.25%
	支払勘定	284,410,226	270,361,870	14,048,356	105.20%
保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業特別会計		64,214,527	60,483,359	3,731,168	106.17%
介護保険関係事業特別会計	業務勘定	907,387	858,443	48,944	105.70%
	支払勘定	166,788,718	160,843,821	5,944,897	103.70%
障害者総合支援法関係業務等特別会計	業務勘定	93,997	81,203	12,794	115.76%
	支払勘定	41,848,643	36,267,947	5,580,696	115.39%
特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計		1,414,278	1,402,606	11,672	100.83%
合 計		746,143,203	711,662,498	34,480,705	104.85%

平成 28 年度予算は、総額で 27 年度比約 344 億 8070 万円（4.85 割）増の 7461 億 4320 万 3 千円となった。

前年度比の増減の大きい会計を、表で上から順に見ていくと、

- ※1 一般会計が約 6 億 7610 万円（72 歳）減になったのは、第三者行為求償事業費を国保・後期高齢者医療・介護保険の各特別会計業務勘定に移設したことが大きな要因である。
- ※2 国民健康保険関係事業特別会計（業務勘定）が前年度比約 23 億 8019 万円（194 歳）増と大幅な伸びになったのは、国保高齢者医療制度円滑導入基金事業特別会計の廃止に向けて、国からの指定公費医療交付金を経理することにしたことによる。
- ※3 後期高齢者医療関係事業特別会計（業務勘定）が前年度比約 4 億 6850 万円（57 歳）増になったのは、第三者行為事業費の一般会計からの移設などによる。

📎 役員の変更

【新役員名簿】

任期：平成 28 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

	保険者名等	氏名		保険者名等	氏名
理事	熊本市	大西 一史	理事	益城町	西村 博則
	八代市	中村 博生		多良木町	松本 照彦
	人吉市	松岡 隼人※		苓北町	田嶋 章二
	玉名市	高崎 哲哉※		歯科医師国保	浦田 健二※
	上天草市	堀江 隆臣※		学識経験者	(未定)
	阿蘇市	佐藤 義興※	監事	荒尾市	山下 慶一郎※
	玉東町	前田 移津行		菊陽町	後藤 三雄
	産山村	市原 正文		芦北町	竹崎 一成

※の役員が今回の改選で新しく選任された。

理事のうち学識経験者については、改選前は本会の林田常務理事が務めていたが、同常務理事の 3 月末での退任に伴い、現在、熊本県に推薦依頼中。

退任のご挨拶

任期中は皆さま方に大変お世話になり、心からお礼申し上げます。

今、医療制度改革が推し進められる中で、国民健康保険制度も半世紀ぶりという大改革の時期を迎えています。まさに今年は施行に向けての準備が具体的レベルで、急ピッチで進められる年であり、保険者の皆さまも大変お忙しい年になると思われまます。

国保連合会も 4 月から新しい体制でスタートしますが、事務局職員もこの大改革に的確に対応して皆さまの信頼に応えられるよう、なお一層努力してまいりますので、今後ともご指導をお願いします。

振り返りますと、至らないことばかりでしたが、改めまして皆さまに心からお礼を申し上げますとともに、皆さまの今後ますますのご活躍を祈念しまして、退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



熊本県国民健康保険団体連合会常務理事
林田直志

